株主メモ

■事業年度　毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
■定時株主総会　毎年6月
■基準日　定時株主総会　3月31日
期末配当　3月31日
中間配当　9月30日
その他必要がある場合、あらかじめ公告する一定の日
■株主名簿管理人　三井住友信託銀行株式会社
■同連絡先　〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
TEL　0120-782-031（フリーダイヤル）
■公告の方法　電子公告により行う
公告掲載URL　http://www.teikokudenki.co.jp/
（ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。）
■特別口座の口座管理機関　三菱UFJ信託銀行株式会社
■同連絡先　〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社　大阪証券代行部
TEL　0120-094-777（フリーダイヤル）

（ご注意）
1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。株主名簿管理人（三井住友信託銀行）ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
3.未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主優待制度の一部変更に関するお知らせ

1.変更の理由
当社は、平成26年10月1日付で、普通株式1株につき2株の割合とする株式分割を実施いたしました。これに伴い、株主優待制度の保有株式数基準を従来の2倍の株式数に変更いたしました。

2.変更内容
株主優待の保有株式数基準を以下のとおり変更いたしました。なお、株主優待内容について変更はございません。

保有株式数基準		優待内容
変更前	変更後	
100株以上500株未満	200株以上1,000株未満	1,000円分の図書カード
500株以上1,000株未満	1,000株以上2,000株未満	3,000円相当のカタログギフト
1,000株以上	2,000株以上	5,000円相当のカタログギフト

3.実施時期
平成27年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された株主様への送付分から実施いたします。図書カードにつきましては、株主総会決議通知に同封させていただいておりますが、カタログギフトにつきましては、7月上旬にカタログを発送させていただきます。

株式会社 帝国電機製作所　〒679-4395 兵庫県たつの市新宮町平野60番地
TEL 0791-75-0411（代表）

Business Report

株主の皆様へ

第111期 年次報告書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

TEIKOKU

株式会社 帝国電機製作所

[証券コード：6333]

売上・利益共に、過去最高を達成いたしました。

代表取締役社長 宮地 國雄

Q 第111期の業績について、総括をお話しください。

A 第111期は、円安傾向による為替差益という追い風もあり、増収・増益を達成できただけでなく、過去最高の業績となりました。

当社の主力事業であるポンプ事業については、国内市場の設備投資状況は依然として厳しいものの、中国をはじめとしたアジア市場やアメリカ市場においては堅調に推移し、前期の好調な受注により積み上がった受注残の助けもあり、過去最高の売上を達成いたしました。

利益面については、ますます厳しくなる受注環境の中で、無理な価格競争となるような案件については場合によっては手を引き、当社の高い技術力で勝負できる案件に集中することで、利益率の回復に努めてまいりました。さらに円安の好影響が加わり、営業利益、経常利益、当期純利益の全てにおいて過去最高となりました。

また、第111期の期末配当につきましては、業績等を総合的に勘案した結果、1円増配し、1株当たり7円といたしました。

Q グローバル展開の進捗と今後の戦略についてお聞かせください。

A **ー中国・韓国市場について**

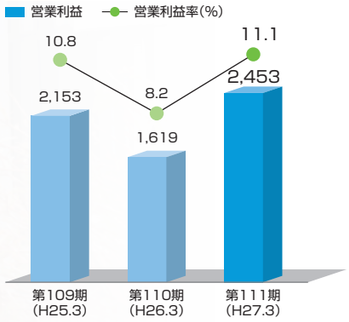
成長率が鈍化してきたと言われる中国市場ですが、ケミカル分野の市場にはまだまだ拡大の余地があり、それ以外にも電力関連や鉄道関連等の公共投資は今後も拡大すると考えております。

また、今後の中国の製造業は、品質向上や高付加価値製品への対応により高度な製造ラインを整備する段階にきており、高い技術力を要する高機能ポンプの需要が増えていますが、これは当社が得意とする分野であり大きなチャンスと考えております。長年培ったノウハウをもとに新製品を開発し、さらなるシェア拡大を目指してまいります。

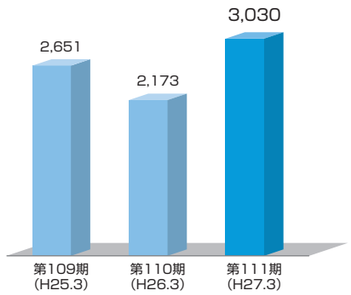
韓国市場においては、今年6月に当社の子会社である大連帝国キャンドモータポンプ有限公司が、子会社である Teikoku Korea Technical Service Co.,Ltd. を韓国に設立いたします。今後は韓国市場におけるアフターサービス拠点として、韓国での販売会社である当社子会社TEIKOKU KOREA CO., LTD.との

売上高 (単位:百万円)

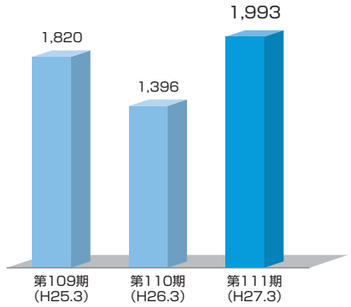
営業利益／営業利益率 (単位:百万円)



経常利益 (単位:百万円)



当期純利益 (単位:百万円)



連携を密にし、メンテナンス対応や買い替え需要の掘り起こしなどを行うことでさらなる飛躍を目指してまいります。

―アメリカ市場について

アメリカ市場については、景況感の回復から受注が堅調に推移しており、今後はシェールガス革命に伴い、シェールガスを原料とするエチレンプラント及びその下流品としての化学品基礎原料のプラントの大幅な増設も期待されています。昨今の原油安の影響により、これらのプラント建設の進捗が後ろ倒し傾向になっているとの報道もありますが、来期からは徐々に受注が本格化すると見込んでおります。

さらに、最近のアメリカ市場では、展示会への出展など精力的な営業活動の成果として、ようやくキャンドモータポンプの優位性に対する理解が広まってきました。先日も世界的な大手ケミカル企業が当社本社工場まで視察に来られるなど、市場の裾野が広がることが期待されます。

―欧州市場及びその他の市場について

欧州市場には、もともとキャンドモータポンプの強力な競合メーカーがあるため、後発である我が社にとっては厳しい受注環境が続いておりました。しかし、販売代理店との連携による情報収集や、現地の修理会社と契約することでアフターサービス体制を築く等、受注獲得を目指して地道な活動を継続してまいりました。その結果、スロバキアの原子力発電所関連等の難度の高い案件を受注したことで、当社が技術力の高い企業であるとの認識が広がり、多くの引き合いをいただくようになってまいりました。

また、中長期的な視点で考えると、注目すべき市場の1つにロシア市場があります。もともと有数の原油産出国でしたが、原油価格に左右されないよう、原油のまま輸出するだけではなく、化成品に加工することで付加価値を高める方針に切り替えつつあり、そこに当社のキャンドモータポンプの活躍の場が期待できます。そのため、ドイツにある当社子会社TEIKOKU ELECTRIC GmbHと販売代理店との連携で市場動向の調査を進めております。

Q 現在進める設備投資についてお聞かせください。

A ―新工場建設について

当社の本社工場につきましては、竣工から50年以上が経過しますが、その間に全面的な更新は行わず、市場ニーズに応じて少しずつ拡張を繰り返すことで対応してきました。

その中で、近年お客様のニーズが高まっている高機能ポンプや大型ポンプの製造にあたっては、手狭な中、何とか生産ラインを確保し、生産効率が悪い環境の中で対応してきました。そのため、これらのポンプの製造に対応した生産効率の高い生産ラインを確保することが大きな課題となっていました。

また、今後北米ではシェールガス革命によるプラントの大幅な増設が期待され、中国や東南アジアにおいても、インフラ整備や化学プラントの増設も予想されています。そのため、現状の生産能力では増え続ける需要に対して十分な対応ができなくなる恐れがあります。

これらの変化に対応するために、また30年、50年先を見据えて、今回本社工場の全面的な建て替えに踏み切りました。既に今年4月に着工しており、メインとなる組立検査ラインの完成が平成28年5月、周辺設備も含めた完成は平成29年春を予定しております。

正門イメージ図

新工場完成予想図

株主の皆様へ

今回の新工場の建設により、生産効率の高いラインを構築して生産能力を高めることで、将来の事業展開に機動的に対応できる生産体制を構築いたします。

―新基幹システムの導入について

当社は、お客様が求めるニーズに的確かつ迅速に対応した製品の生産を実現するため、材料の選定から本体の設計まで、お客様の要求に合わせた完全受注生産体制をとっております。そのため、基幹システムの入れ替えに関してはかなりの時間と労力を費やしましたが、今年の5月に無事、本格稼働することができました。今後はこの新しいシステムを活用し、より一層の効率化を進めてまいります。

Q 株主様へのメッセージをお願いいたします。

A 第111期は、個人投資家様向け会社説明会を各地で開催する等、積極的なIR活動を実施してまいりました。当社グループは典型的なB to B企業であるため、一般の方々への認知度という意味では決して高い企業ではございません。より多くの方に当社グループの事業の優位性と安定性をアピールし、ファンとなっていただける株主様を増やしていきたいと考えております。第112期も引き続き、当社グループについて一人でも多くの方に知っていただくために、精力的な活動を推進してまいります。

今後も当社グループは、キャンドモータポンプのリーディングカンパニーとして、高い技術力と信頼性を強みとし、景気変動に左右されない安定した強い経営体質の会社づくりを進めてまいります。

株主の皆様のご期待にお応えできるよう、努力してまいりますので、一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

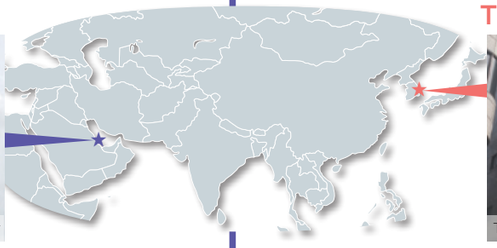
個人投資家様向け会社説明会の様子

海外拠点紹介

〈バーレーン〉

バーレーン駐在員事務所

バーレーン駐在員事務所が入る Al Moayyed Tower



平成24年にバーレーン王国マナマ市に駐在員事務所を開設し、中東地域及びインドを対象に情報収集及びマーケティング強化を図っております。特に当該地域の石油化学業界等においてはキャンドモータポンプの需要が多いことから、より多くの情報を収集し発信することで、最終的に受注に結び付けることができるよう努めております。

今後の戦略

中東地域及びインドでは経済成長が続いており、今後も一定の成長が見込まれております。現状、石油価格の下落といった不安定要素はありますが、中長期的には石油化学業界の投資は継続されると思われます。特にサウジアラビアでは、高付加価値な石油化学製品の生産が拡大しており、それに伴いキャンドモータポンプの需要の増加が期待できます。この様な動きをいち早く捉えるために、代理店や顧客との信頼関係の更なる強化に努めてまいります。

また、平成26年には帝国電機製作所とサウジアラビアを拠点とする修理会社との間でメンテナンスサービス契約を締結し、故障などの不測の事態にも迅速に対応できる体制を構築しており、アフターサービスの強化にも注力しております。

〈韓国〉

TEIKOKU KOREA CO.,LTD.

TEIKOKU KOREAが入るWoonam Building

昭和53年に駐在員事務所としてスタートし、平成17年に現地法人として設立して以来、今年で10年の節目を迎えます。韓国の代表的な産業の１つであるエレクトロニクスから、ケミカル、太陽光発電で使用されるポリシリコン製造装置用等の幅広い分野でテイコク製品の販売を行っております。

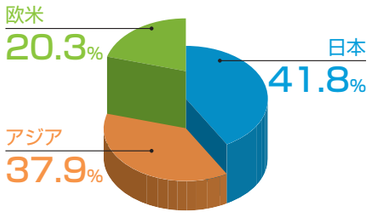
今後の戦略

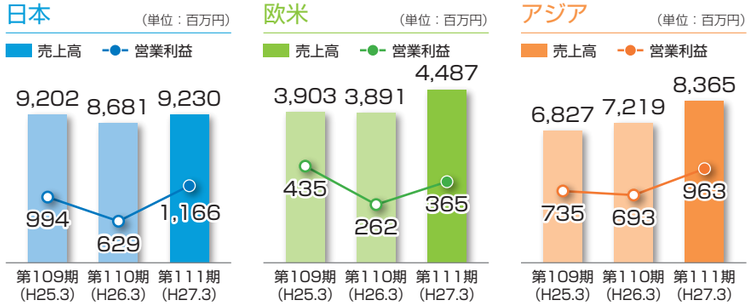
製造業が多く、輸出依存度が高い産業構造である韓国では現在、政府による素材、医療、エンジニアリングの産業育成が計画されています。特に素材、エンジニアリングの分野においてはキャンドモータポンプの需要が増加することが期待できるため、このチャンスを活かして更なるシェア拡大に取り組んでまいります。

また、韓国におけるアフターサービス体制を強化するため、帝国電機製作所の100%出資子会社である大連帝国キャンドモータポンプ有限公司が韓国に子会社である「Teikoku Korea Technical Service Co.,Ltd.」を設立することとなりました。今後、その子会社と連携し迅速なアフターサービスを実現させることで更なる顧客満足度向上を目指します。

所在地別セグメント

所在地別売上高構成比





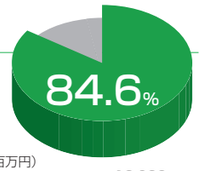
＊売上高は外部顧客に対する売上高

(注) 1.地域の区分は、地理的近接度を考慮して決定しております。
2.本邦以外の区分に属する国及び地域の内訳は、次のとおりであります。(1) 欧　米：米国、ドイツ　(2) アジア：中国、台湾、シンガポール、韓国

セグメント別事業の概況

ポンプ事業

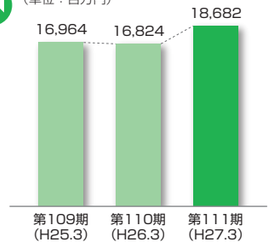
売上高構成比



売上高

前期比 **11.0%増**

（単位：百万円）



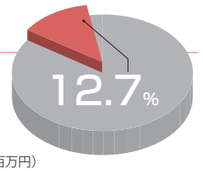
ポンプ事業は、ケミカル用モータポンプは国内外で販売が増加し、ケミカル以外用モータポンプは主に海外で販売が増加しました。内訳は、ケミカル用モータポンプにおいては、主力のケミカル機器モータポンプは国内外で増加し、冷凍機・空調機器モータポンプは主に海外で増加しました。また、ケミカル以外用モータポンプにおいては、電力関連機器モータポンプは主に海外で増加し、定量注入機器ポンプは国内外で増加しました。

その結果、売上高は186億82百万円（前期比11.0%増）、連結売上高に占める割合は84.6%となりました。

また、営業利益は、売上の増加や利益率の高い案件比率の向上及び原価低減等による粗利率の改善等により22億65百万円（同52.1%増）となりました。

電子部品事業

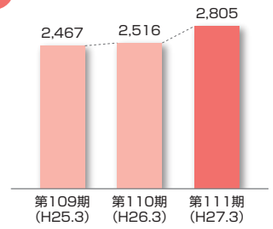
売上高構成比



売上高

前期比 **11.5%増**

（単位：百万円）

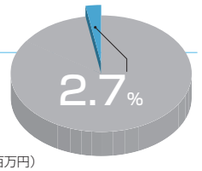


電子部品事業は、受託先企業からの仕事量の一部が海外移転したことによる影響があったものの、新たに移管された仕事量の増加により、売上高は28億5百万円（前期比11.5%増）、連結売上高に占める割合は12.7%となりました。

また、営業利益は、売上の増加及び販売費及び一般管理費の減少等により、98百万円（同8.3%増）となりました。

その他

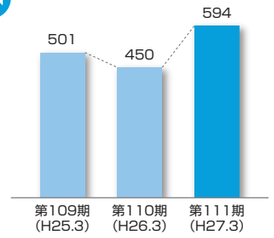
売上高構成比



売上高

前期比 **32.0%増**

（単位：百万円）



その他は、昇降機等の特殊機器の売上が増加したことから、売上高は5億94百万円（前期比32.0%増）、連結売上高に占める割合は2.7%となりました。

また、営業利益は、売上の増加及び原価低減等による粗利率の改善に努めた結果、89百万円（同132.4%増）となりました。

ピックアップ／電子部品事業

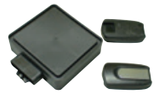
快適な暮らしを支える
便利な機能にも
テイコクの技術が活きています。

株式会社平福電機製作所

沿　　革

昭和38年　兵庫県佐用郡佐用町に(株)平福電機製作所を設立
昭和63年　兵庫県揖保郡太子町に太子工場を新設(現本社)
平成13年　ISO9001認証を取得
平成16年　ISO14001認証を取得
平成22年　兵庫県たつの市新宮町に光都工場を新設

自動車用電装品

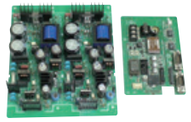


二輪車用キーレスユニット

自動車用車室内統合制御ユニット

産業機器用基板

シーケンサ I/O 増設ユニット



シーケンサ用電源基板

電子部品事業では、コントロールユニットのような自動車用電装品とシーケンサ用基板などの産業機器用基板を主な製品としています。例えば、急速に普及したETC、キーレスエントリー、電動パワーステアリングなどのカーエレクトロニクス製品や産業用の各種機器類の制御に使用されるシーケンサ用の基板などです。これらの製品を製造しているのが、当社の子会社である株式会社平福電機製作所です。

平福電機製作所は、昭和38年の創業以来、三菱電機株式会社姫路製作所や三田製作所から委託された数々の自動車用電装品や産業機器用基板などの製造に携わっております。

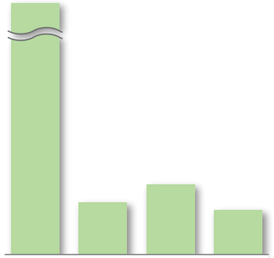
今後、グローバル化は更に進むと考えられますが、低コストで高品質の製品を提供することで、競争力を保持し、常にお客様に満足していただくと共に従業員に喜びと安心を提供し続ける企業として存続できるよう邁進してまいります。

連結財務諸表

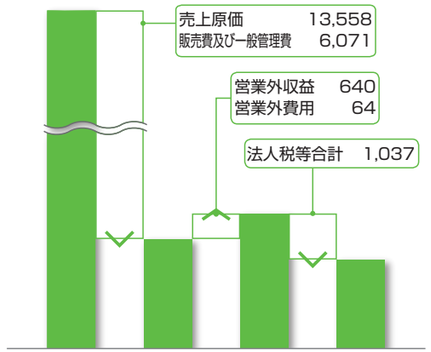
連結損益計算書

（単位：百万円）

前期（平成25年4月1日～平成26年3月31日）



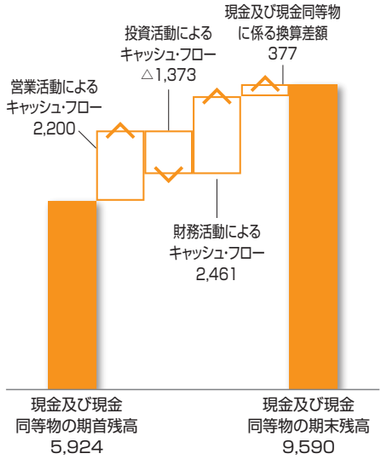
当期（平成26年4月1日～平成27年3月31日）



連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

当期（平成26年4月1日～平成27年3月31日）



連結貸借対照表

（単位：百万円）

科　目	前期末（平成26年3月31日現在）	当期末（平成27年3月31日現在）
資産の部		
流動資産	16,971	22,222
固定資産	8,356	8,970
有形固定資産	6,166	6,425
無形固定資産	465	502
投資その他の資産	1,724	2,041
資産合計	25,327	31,192

科　目	前期末（平成26年3月31日現在）	当期末（平成27年3月31日現在）
負債の部		
流動負債	5,801	6,308
固定負債	1,677	1,664
負債合計	7,479	7,973
純資産の部		
株主資本	16,940	21,680
その他の包括利益累計額	908	1,538
純資産合計	17,848	23,218
負債純資産合計	25,327	31,192

会社情報／株式情報

会社概要（平成27年3月31日現在）

社　　名	株式会社帝国電機製作所 TEIKOKU ELECTRIC MFG. CO., LTD.
設　　立	昭和14年9月12日
資 本 金	31億1,811万8,450円
従業員数	連結 1,233名　単体 342名
本　　社	〒679-4395 兵庫県たつの市新宮町平野60番地 Tel. 0791-75-0411（代表）
ホームページ	http://www.teikokudenki.co.jp/

役員（平成27年6月26日現在）

代表取締役社長	宮地國雄	常勤監査役	田中久継
常務取締役	中村嘉治	常勤監査役	尾上喜一郎
取締役	大川貴広	社外監査役	長谷川克博
取締役	白石邦記	社外監査役	曾我　巌
取締役	舟橋正晴		
取締役	頃安義弘		
社外取締役	林　晃史		

グループ会社（平成27年3月31日現在）

国内子会社
- 株式会社協和電機製作所
- 上月電装株式会社
- 株式会社帝伸製作所
- 株式会社平福電機製作所
- 株式会社帝和エンジニアリング

海外子会社
- TEIKOKU USA INC.
- 大連帝国キャンドモータポンプ有限公司
  - ＊台湾帝国ポンプ有限公司
  - ＊無錫大帝キャンドモータポンプ修理有限公司
  - ＊済南大帝キャンドモータポンプ修理有限公司
  - ＊成都大帝キャンドモータポンプ修理有限公司
- TEIKOKU SOUTH ASIA PTE LTD.
- TEIKOKU ELECTRIC GmbH
- TEIKOKU KOREA CO.,LTD.

（注）＊は大連帝国キャンドモータポンプ有限公司の子会社であります。

株式の状況（平成27年3月31日現在）

発行可能株式総数	69,200,000株
発行済株式の総数	20,400,138株
株主数	5,358名

※当社は、平成26年10月1日付で、普通株式1株につき2株の割合とする株式分割を実施いたしました。

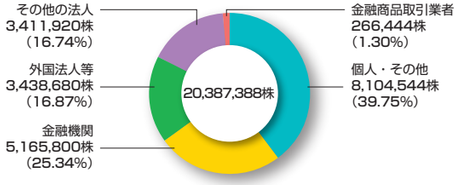
大株主（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
三菱電機株式会社	2,286,400株	11.21%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,836,800株	9.01%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	683,100株	3.35%
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140030	638,000株	3.13%
刈田耕太郎	541,244株	2.65%
徳永耕造	499,400株	2.45%
江頭憲治郎	419,952株	2.06%
株式会社三井住友銀行	410,000株	2.01%
帝国電機取引先持株会	408,100株	2.00%
入江慶次郎	400,000株	1.96%

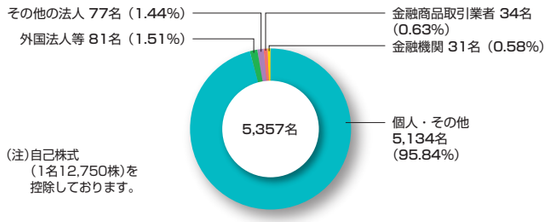
（注）持株比率は自己株式（12,750株）を控除して計算しております。

株式分布状況

■所有者別株式分布状況



■所有者別株主分布状況



（注）自己株式（1名12,750株）を控除しております。